



2021-22 年度地区方針

「チェンジロータリー 新時代への成長に！」～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

本日 第2409回 2021年11月5日(金) No. 2290

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者:ロータリー財団委員会

点 鐘 12:30

卓話者:国際ロータリー第2760地区

資金管理委員会

副委員長 安田 新平 様

斉 唱 「君が代」・「奉仕の理想」

演 題:「ロータリー財団プログラムについて」

前回 第2408回 2021年10月22日(金) 記 録

○唱和:「四つのテスト」

○ゲスト:尾張旭市共同募金委員会

会長 秋田 誠三様

尾張旭市社会福祉協会

副主事 佐藤 純様

○出席者:会員 23 名中 17 名出席 出席率 73.91%

会長あいさつ 桜井 雅博



毎朝楽しみにしている「THIS TIME」のニュースよりクラシック音楽の三大コンクールの一つ「第18回ショパン国際ピアノ・コンクール」の最終結果

が21日未明(日本時間同日午前)発表されて、東京都出身の反田恭平さん(27)が2位、山口県出身の小林愛実さん(26)が4位に選ばれました。日本人の2位入賞は1970年の内田光子さん(現在は英国籍)以来、51年ぶりの快挙です。

次のニュースではアメリカの前大統領ドナルド・トランプ氏が、「TRUTH Social」という名称のソーシャルメディアを立ち上げることを発表しました。2021年11月から招待制のベータ版を開始することです。

今回のソーシャルメディアの新規立ち上げについて、トランプ氏は「私が TRUTH Social と TMTG を設立したのは、ビッグ・テックの暴政に立ち向かうためです。」とコメントしています。来年のアメリカ中間選挙が非常に楽しみです。

本日のお手元の配布資料は、メールマガジン「宮崎正弘の国際情勢解題」で石平『中国 v s 世界最終戦争論』(清談社)についての書評です。

米中戦争は世界最終戦だから、西側世界の運命を決する戦いであり「史上最悪のファシズム国家中国とのこの戦いの結果によって、生きるか死ぬかの岐路に立たされる」と、深刻な現状認識を述べています。

	11月12日(金)	11月19日(金)	11月30日(火)	12月3日(金)
例会予定	卓話担当者:熊澤 功君 卓話者: " " 演題:「雑話」	休会 定款による休会	(26日振替分) 第2760地区ガバナー 公式訪問(4RC合同例会) ホスト:瀬戸北 RC 卓話担当者:杏名 俊裕ガバナー 卓話者: " " 演題:「ガバナー訪問に因んで」	年次総会 卓話担当者:谷口 亜弥さん 卓話者: " " 演題:「未定」

幹事報告

・10/21(木)第3回地区研修実行委員会及びDL合同会議 於ガバナー事務所 森井地区研修実行委員 出席

次回の例会：10/29(金)休会 次回は11/5(金)通常例会となります。

次回の会合：11/5(金)第9回理事役員会 於第1会議室 13:40～

ニコボックス

- 共同募金のご協力のお願いに参りました。宜しくお願ひ致します。
尾張旭市共同募金委員会 会長 秋田 誠三様
- 本日の箕輪戦略委員長の卓話を楽しみにしています。
桜井 雅博君、菊田 利昭君、飯田 幸雄君
熊澤 功君、谷口 亜弥さん、森 友子さん
森 康美君
- 秋田誠三さん、お久しぶりです。ようこそおいで頂きました。
加藤 清久君、金森 俊輔君、山田 直樹君
- 秋ですか。冬ですか。今日今頃の気候の中、京都へ行ってきました。箕輪さんにお世話になりました。ありがとうございます。加藤 清久君
- 本日は私の誕生日です。皆様へお裾分けのケーキです。尚、プレゼントは1年中受け付けております。古橋 裕志君
- 今日のフォーラムで、皆でクラブの在り方について大いに議論しましょう。森井 晴生君

赤い羽根共同募金の協力依頼

社しよう みんなの人生を豊かにするが
2021-22年度 赤い羽根共同募金



尾張旭市社会福祉協会
会長 秋田 誠三様



尾張旭市共同募金委員会
副主事 佐藤 純様

卓話



「戦略委員会フォーラム」
戦略委員会委員長
箕輪 良孝

2013年頃 RI で戦略委員会が提案され 2017年に地区から委員会設置の指導が始まりました。

元来ロータリークラブ

は単年度主義であったのですが、奉仕等プログラムを遂行するには継続が現実的であり、ロータリークラブの活性化を図る意味で戦略委員会なるものが組織されています。

当クラブは2016年に会員減少から危機的な状況になり、再生委員会としてどのクラブより早委員会をつくり問題に対処してきていますが、残念ながら成果は今一つです。ロータリークラブも大きく中身が変わり、社会情勢も大きく変わってきた現在それに対処できる戦略を考えていかなければなりません。

ん。今日は、フォーラムとして会員の自由な意見を伺い戦略委員会の協議の参考になればと思います。フォーラムでは、松永 山田 金森 森井 谷口さんから奉仕プログラムの再構築、地区活動の体験 RI 手続要覧の改定 楽しいクラブの体験など様々な意見をいただきました。

私見ですが、ロータリークラブは元来異業種の職業人が、奉仕の理想を理念に集い「四つのテスト」を倫理基準として、それぞれの職業を通じて社会貢献するものであっていてクラブで社会奉仕をしなければならぬものではないと思います。とすると押し付けの奉仕になってしまうこともあります。求められればすぐに対応できる奉仕が出来るクラブであることです。その為には会員同士が親睦を深め心のつながりを強くし、自己を高めて社会貢献できる人間になっていくことこそ真のロータリアンではないでしょうか。例会の重要性を意識することです。RI の人頭ばかり増やす改革に疑問をもちます。最後に会員同士の心のつながりを強くするために、戦略委員会主幹で様々なイベントを計画したいと思います。

危機管理セミナー報告

危機管理委員会 委員長 寺本善雄

本年度の危機管理セミナーを9月22日(火)に、コロナ禍の中、昨年に続いて Zoom によるリモートで開催しました。ロータリーの危機管理は、今ではロータリーの活動に参加するすべての青少年を守ることをその対象範囲としています。

20-21年度、危機管理委員会では「危機管理の指針」をまとめました。a.事故 b.感染症 c.災害 d.虐待およびハラスメント e.犯罪による被害および加害 の5つの項目で、危機発生とその対応手順を決めております。今年度の危機管理セミナーは、この「危機管理の指針」を基礎として、危機の発生に際して、実際の身を守る行動に結びつける訓練、シミュレーションを実施する内容としました。

セミナーテーマを「危機発生 その時どうする」とし、参加者にはまず「あるクラブが、知多半島の海岸で、青少年奉仕事業を実施している際に大型地震が発生した、というストーリーのドラマ(事前に紙芝居をビデオ撮影)」を見ていただき、その後、7つのグループに分かれて、このドラマの問題点などについて話し合いました。討論終了後、各グループの代表者から討論内容を発表、その都度、講師の名古屋市港防災センターアドバイザーの近藤ひろ子先生から発表内容、また疑問点について、コメントをいただきました。近藤先生から『命を守る』『皆と一緒に生き抜いていく』、そのための防災力アップに力を合わせる事が大事』との言葉をいただき締めくくりました。

危機が発生した際には、地区と各クラブが協力して危機解決に向けて努力することが重要です。そのためには、まず有事の際は危機管理委員会に一報を入れるということを確認して下さい。よろしくお願ひいたします。